

1 実施概要

＜調査目的＞

- ・各職場でこれまで取り組んできた業務改善の実態を把握し、本部全体で共有するとともに、その取組を庁内や外部に発信する。
- ・病院横断的に検討が必要な業務上の課題や問題点を大局的に把握する。

＜調査方法＞

- ・対象：病院経営本部全職員
- ・方法：本部各課、各都立病院庶務（担当）課長宛てに調査協力依頼（平成28年11月29日付け28病サ事第570号）
- ・回答：Ⅰ）患者サービス、Ⅱ）情報公開、Ⅲ）事務の効率化・費用削減、Ⅳ）その他の4テーマについて、①実施済み、②取組中、③提案、④病院横断の検討の4区分で回答

2 提案数等の概要

＜所属別・提案テーマ別集計＞

所属	提案数	患者サービス	情報公開	事務の効率化	その他
本部	60	9	7	27	17
広尾	50	17	4	16	13
大塚	80	32	0	35	13
駒込	186	95	0	70	21
墨東	38	14	4	10	10
多摩総合	45	22	2	11	10
神経	83	54	6	17	6
小児総合	18	10	0	5	3
松沢	58	31	0	22	5
合計	618	284	23	213	98

＜提案テーマ別・区分別集計＞

テーマ	区分			
	実施済み	取組中	提案	病院横断検討
患者サービス	148	109	23	4
情報公開	6	5	10	2
事務の効率化	91	70	43	9
その他	35	38	20	5
合計	280	222	96	20

※1 本部60件の内訳は、総務課14件、財務課17件、職員課2件、事業支援課27件

※2 PFI病院は、SPC（協力企業）からの提案等を含む。

3 主な実施済み内容

＜患者サービス＞

- ・外国人患者用に、診療申込書や説明文書、問診票等を多国語で準備
- ・患者呼出装置の設置や、支払機の利用促進により、外来や会計の待ち時間を短縮
- ・栄養価の高い病院食レシピを、患者や家族が持ち帰れるよう院内に設置

＜情報公開＞

- ・医薬品、放射線機器等の紹介をホームページでわかりやすく公開
- ・診療科の特色や実績、看護部の活動や研修体制等をホームページで紹介
- ・臨床指標、病院機能評価受審結果等医療の質が見える化して公表

＜事務の効率化・費用削減＞

- ・システム改善により、消耗品請求や検査・食事指示等の随時正確な伝達とペーパーレス化を実現
- ・エリア別での時間外空調の停止
- ・バーコードの活用により、正確で短時間での入力作業の実現、重複等の防止。採血時間等の管理

＜その他＞

- ・検査科、放射線科内での独自の災害訓練を実施
- ・地域医療連携登録医に対して院内施設利用サービスを提供
- ・電子カルテに独自システムを設け、業務の効率化やスタッフ間での患者固有情報の共有化を実現